



講座コード R-141

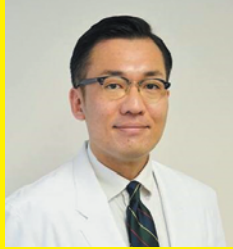
難易度



アプローチの効果が“ガラリ”と変わる! 整形領域の触診・解剖講座

～ 構造を立体的に捉えて触る一撃必“察”の技～

体幹・頸部編



日時：2025年5月24日(土) 10:00～16:10

2週間見逃し受講期間有

場所：インターネット生ライブ

講師：町田 志樹 先生 (SBC東京医療大学)

対象：看護師・PT・OT・ST (左記以外でも受講可)

受講料：会員 9,800円 一般 12,800円(税込)

今、会員になると

年会費 4,900円が無料

実質 7,900円割引

※先着順 定員になり次第締切

アプローチを学んでみたけれど、正直「それ、どの場所？」と感じていませんか？

整形疾患に対するアプローチを学んだけれど、多裂筋や半棘筋など、「それどこの場所なの？」と疑問を感じていませんか？せっかく学んだアプローチも、正しい場所に行えなければ、当然結果は出ません…この講座では“ミスター解剖”と呼ばれる町田先生がアプローチに必要な部位の触診を徹底解説。その場所を触る理由をしっかりと理解し、確実に目的の構造体に到達できるスタッフを育成します。さあ、あなたも専門家から触診のコツを学んで、自信をもって介入できる技術を身につけてみませんか？

腰痛や嚥下、離床時の動きを改善するために

“必須の体幹と頸部の必察アセスメント”

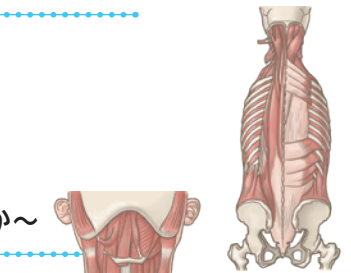
慢性腰痛

- ・体幹は唯一の運動装置！？
腰痛発生のメカニズムにつながる軸上筋と軸下筋
- ・腰痛はここにアプローチ！
最長筋・半棘筋・多裂筋の触察・解剖学



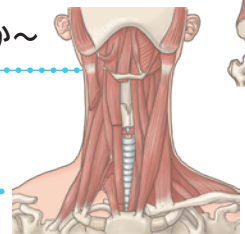
椎間板ヘルニア

- ・線維輪の外側層を意識したアプローチの重要性
～固有感覚受容器と自由神経終末～
- ・離床時の動きとリンク！体幹運動による髄核移動と退行性変化
- ・キーマンは“靭帯”ヘルニアを予防する靭帯補強メカニズム
～棘上靭帯・棘間靭帯・黄色靭帯 ほか～



頸肩腕症候群

- ・痛み・しびれを改善する頸椎のみかた
～横突孔と肋骨連関がキモ～



嚥下障害・腹膜炎

- ・嚥下障害に必須！頸部前面筋の触察・解剖学
～オトガイ舌骨筋・顎二腹筋・胸骨舌骨筋・茎突舌骨筋 ほか～
- ・離床時の体幹安定に欠かせない腹筋群の触れ方と機能の違い
～腹直筋・腹横筋・内腹斜筋・外腹斜筋 ほか～



かゆい所に手が届く

この講座では、筋や靭帯など構造同士の重なりを3Dで捉えて立体的に理解し、しっかりと触れる方法についても解説！

※この講座は離床アドバイザー取得コースの理論1単位・学会認定資格更新10ポイントを取得することができます

申込方法

ホームページよりオンライン登録

日本離床学会

検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に！日本離床学会

